



「令和6年度 総会終了のご報告」

会長 大野 孝

新緑の香りがすがすがしい季節になりました。

皆さまにおかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

いつも「札幌家族の会」にご支援ご協力をいただきありがとうございます。

令和6年度定期総会は、4月18日(木)に開催することができました。

結果、すべての議案が承認されましたので、ご報告いたします。

今年は承認いただいた「結成40周年記念事業」として、記念誌の発行、記念式典、記念講演会の開催に向けて役員、会員の皆さまとともに取り組みます。

さらに、役員を選任が行われ、新たな協力者1名が加わり、会長の私をはじめとした20名の役員体制で会の運営と活動をすすめることとなりました。

総会議案書をお送りいたします。

今後の活動につきまして皆さまのご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



▲来賓の道社協
地域福祉部前田部長

▲総会は33名の皆さんに出席いただき、
終了後は懇談会を行いました

▲開会あいさつ
大野会長



結成40周年記念事業『記念講演会』のご案内

記念講演会は、来る6月30日(日)13:30~15:00に開催します。講演テーマは『「認知症」と「認知症の人」を良く知ろう~認知症の9大法則・1原則について~』講師は杉山孝博先生(川崎幸クリニック院長)です。

講師の杉山先生をご紹介します。1947年、愛知県のお生まれです。1973年、東京大学医学部卒。東京大学医学部附属病院で内科研修後、地域医療に取り組むために川崎幸病院(神奈川県川崎市)に勤務。1981年「呆け老人をかかえる家族の会(現・認知症の人と家族の会)・神奈川県支部」の

発足当初から会の活動に参加され、現在、(社)認知症の人と家族の会副代表理事、神奈川県支部代表。往診・訪問看護を中心とした在宅ケアに取り組まれています。公益社団法人全国認知症グループホーム協会顧問、公益財団法人さわやか福祉財団評議員、各方面でご活躍中です。当会では一昨年、会報「なごみ」シリーズ「認知症の正しい理解」を学ぶため、先生の提唱されている「認知症の9大法則と1原則」を特集し、会員の皆さまから好評をいただきました。杉山先生のお話を直接伺う絶好の機会です。皆さまのご参加をお待ちしています。





介護体験 山あり谷あり弟の介護

S. E (厚別区)

☘ デイサービスの利用

同居している弟は70歳。アルツハイマー型認知症と診断されたのは、2021年67歳でした。要介護1、介護拒否、拘りが強くて手を焼くことが多いです。デイサービスではスタッフさんのご尽力で入浴をしています。家では、毎日入っていた風呂は拒否、紙パンツの交換も難しい状況でしたので助かっています。

☘ リアン（就労継続支援B型事業所）では

診断された当時は、知的障害があるのでリアンに通っていました。公共交通機関を使い一人で行ってましたが、家では食器洗いが雑になり、リアンでも作業にミスが増え、落ち着かなくなっていました。老化だろうと思っていましたが、変だと思ったのは、夏も冬も秋の薄手のジャンパーを着ていることでした。暖かい服をすすめても大声で「寒くないから」と言って抵抗します。認知症と診断されても、リアンには通っていました。

☘ その年の暮れに脳梗塞に

様子が変わって脳外科に受診したいのに嫌がったときもリアンの方の協力でやっと受診ができました。脳梗塞とわかり即入院は困難で、翌日やっと入院。しかし、入院してからも大声や手を振り回しての拒否があり、1週間も早い退院で、家で生活できるか心配でした。

☘ デイサービスは仕事

すぐに介護保険の再認定を頼み、デイサービスを探してもらいました。軽い右マヒがありましたが、室内歩行、着替えも自分で出来るので

一安心でした。結果は要介護2となりました。認知症と知的障害があり、本人に合うところが中々見つかりませんでした。幸い、今では2ヶ所で週4回通っています。リアンでの作業を参考に、自分の仕事で「会社に行く」と張り切ってデイサービスに行っています。言葉や会話が増えてきました。

☘ コロナに感染して

2023年夏に二人でコロナに感染しました。弟は39℃の熱でも救急搬送はしてもらえず、慌てて買った解熱剤で平熱になったものの、二人だけの引きこもり生活は不自由でしたが、ボランティアに依頼したりして、何とかやり過ごしましたが、この体験は大きかったです。もし、私が病気等で介護が出来ない時、弟はどうなるのかと心配が現実味を帯びてきたからです。ショートステイを嫌がり、説得するのに時間がかかり毎回苦労していますが、先日は自分でパジャマをバッグに入れる様子を見て、こんなにスムーズに行くこともあるのかと、山あり谷ありの心境です。将来の事も考えて、入所施設を探していますが、ここでも知的障害&アルツハイマーでは入れる事業所は中々見つけるのが困難です。「困っている」と言えば、「どうした？」と弟のやさしい顔を見ると愛しいと思うことも、嫌がられて腹の立つこともあります。家族の会のつどいで、介護は必ずしも100%でなくて良いことを教わりました。自分の健康も気にしつつ、毎日が笑顔の日々であって欲しいなあと思うこの頃です。

5月の「つどい」ご案内

【とき】2024年5月20日(月)13:30~15:30

【ところ】豊平区民センター3階 第1・2会議室

札幌市豊平区平岸6条10丁目1

地下鉄:南北線「平岸駅」あるいは「南平岸」、東豊線「美園駅」

【問い合わせ】家族の会事務局 ☎281-2969(火・水)

出欠の予定をお知らせいただくと助かります。よろしくお願ひします。



6月の「つどい」は中央区で6月20日(木)に開催予定です。

ちょこっと学習会テーマは「高齢者に多い家庭内での事故～予防と対応」です。



4月の「つどい」は4月22日(月)北区民センターで20名の参加をいただき開催しました。

「ちょこっと学習会」は、(株)白十字の工藤様より「紙パンツおよびパットについて」のお話をいただきました。最新の紙パンツ製品事情、履き心地や漏れ対策などが進化していること、履き方や基本的な使い方、タイプやサイズ種類と選択の仕方、皮膚の保護方法、吸収量の違い、内部の構造、実際の見本提示など丁寧に説明いただき、使用経験のない方でも参考になったと思われまふ。

その後の語り合いでの皆さんの発言概要は、以下のとおりです。

80代夫を介護 70代妻

始まったばかりですが、以前お姑さんの介護経験が活きていて、今は困っていることはないです。本人の好きにさせて、1日何回も同じことと言われても聞いたふりして、機嫌よく過ごせるようにしています。

90代義母を介護 50代女性

義母が最近療養型病院に入りました。落ち着いてますが、息子である夫はまめに行きたいようで、何をしてあげたらよいのかなと考えています。

80代父を介護 50代息子

病院に入っていますが、話せないのも意思疎通ができないので困っています。面会時間も短いですが、耳は大丈夫なので、できるだけ行って話したいです。

80代夫を介護 70代妻

動けますので、悩んでいるのは尿漏れです。下着からズボンまで汚します。オムツ進めたんですがうまく行きません。紙パンツも最初は「いやだ」でしたが、男性が利用しやすいように改良してみました。縫ったりするのは大変ですが、工夫しながら試行錯誤中です。

80代夫を介護 80代妻と娘

主に母と兄が介護、要介護2でデイサービスに週4回通ってます。兄が通院対応してくれます。私は遠方なので時々来ます。父は穏やかな人で問題はありますが、父母とも耳が遠く、お互いに話が通じないのが大変なところです。

80代父母を介護 50代娘

遠方にいる両親が認知症で要介護1です。母は10年くらい前から認知症から脳梗塞へ、更に進んでいます。父も目の動きがおかしいので、

脳外科MRIで脳の萎縮がありアルツハイマー型認知症の診断で、少しパニック気味です。ただ、日常生活は何とかなってますが、脳外科の主治医の対応やケアマネ、ヘルパーさんの対応などなかなかうまくいかずに悩んでます。

80代本人 男性

硬膜下血腫の後遺症で認知症を経験しましたが、今老人クラブ会長しています。活動では、認知症やMCI、難聴の方なども居ますが、これをどう受け入れるかということも大切で、この会などで勉強させていただいています。

(会員などから)

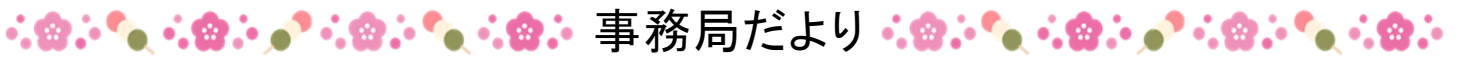
・遠方介護や高齢介護になり、あまり好まない方向に行くようでしたら、訪問診療、看護、介護を利用する方法もあります。訪問はじっくり会話ができるなど良い面も多いです。

・包括から。医療面補足ですが、他にも訪問薬局、看護師や専門療法士による訪問や通院リハビリ、訪問歯医者などもあります。

・どんなに素晴らしい奥さんでよく介護されても、ストレスは溜まります。そんな時は、家族の会やミニサロンをどうぞ利用して下さい。

・上手に介護しててもストレスは溜まるので、どこかで発散、上手に発散している人はいい介護ができると思います。誰かに聞いてもらうが一番いいです。家族の会は大事な場と感じてます。

・遠距離は本当に大変です。そんな時は、地域や近所でのコミュニケーション、応援してくれる人やサービスなどが大切です。社協に聞いてみるのも良いです。介護保険サービスで解決できることもありますが、一緒に民間のサービスを上手く利用してみたらいかがでしょうか。



事務局だより

新緑が目には鮮やかな季節になってきました。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。
第41回総会を終え、6月に迎える「結成40周年」の記念誌作成・記念式典・講演会の準備をすすめています。会員の皆さまからのあたたかな「コメント」をありがとうございます。
6月に皆さんとともにお祝いできることを役員一同とても楽しみにしています。

2024年度（令和6年度）総会議案書を同封します。

結成40周年「記念式典」並びに「記念講演会」出欠はがきご回答のお願い
と き：令和6年6月30日（日）10:00～15:00
ところ：かでの2・7 4階 大会議室
※出欠はがきのご回答がまだの方はどうぞお知らせください。

❖ 5月・6月ミニサロンのお知らせ ❖

❖と き：5月8日（水）・6月12日（水） 午後1:00～3:00
❖ところ：かでの2・7 2階 ボランティアルーム
どうぞお越しください。
ミニサロン以外の日でも、皆さんの来訪をお待ちしています。



北海道認知症の人を支える家族の会の会報を同封しました。ご覧ください。
 会費の納入と協賛金のご協力ありがとうございました。まだの方は納入をお願いいたします。
 ご厚志をありがとうございました。 4月 6,500円

T. Nさん、Y. Yさん

入会会員・・・どうぞよろしく。

M. Oさん（手稲区）

退会会員・・・お元気で。

S. Mさん（南区）、T. Nさん（西区）、E. Kさん（豊平区）



H. Y 様（R5.12 ご逝去）
これまで会を支えてくださり
ありがとうございました

4月の活動日誌

2日-会報「なごみ」発行・編集会議、3日-事務局会議、9日-監事監査・40周年記念事業第5回実行委員会・役員会、
10日-臨時事務局会議、13日-さぽーとほっと基金プレゼンテーション（大野・安達）、16日-臨時役員会、17日-総
会議案書印刷・丁合、18日-第41回総会、22日-つどい（北区）、24日-札幌市介護保険課担当係長・職員来訪

井戸端サロン4月 ～仲間からの心にとまる話をご紹介します～

会報「なごみ」のお陰で優しい父に

この時期になると、認知症になった母とのお花見を思い出します。母が認知症になる前から、父と母は有珠山の善光寺へのお花見を年間行事としていたようでした。

母が認知症になってからは、私たちがお弁当をつくり、皆でお花見に行くようになりましたが、母は、お漏らしをしたくないという思いが強く、トイレに行って戻ってきて、さあ、お弁当にしましょうと座るか、座らないうちにまた、トイレへ行くといい出し、その繰り返しで、私は、毎年ゆっくりとお花見をした記憶がありません。認知症の方は、みんな何かこだわりがあるように思いますが、母は「迷惑をかけたくない、おむつもしたくない」だったように思います。

最初の頃は、父は、行ったばかりだろう、と声を荒げることもありましたが、私が行くたびに、会報なごみを置いてきて読んでもらったので、だんだん叱ることもなく、自宅では、母のトイレの付き添いは父の役割で、何度も何度も母のトイレに付き合ってくれました。会報のお陰で、優しい父になりました。（T. O）

